



地域の人に教わりながら、初めてのそば打ちに挑戦

立川小5年生がそば作りに挑戦 「おそばを食べようプロジェクト」

立川小学校5年生は12月20日、「みんなでそばを食べようプロジェクト」で手打ちそば作りを行いました。子どもたちにさまざまな体験をしてもらいたいと、地元有志でつくる立川夢来農民の会(成川幸三会長)が企画。児童は8月に種まき、11月に収穫を体験。その実を石臼でひき、慎重な手つきでそばを打ちました。完成後は、苦労して作ったそばをおいしそうに味わっていました。



バンザイで新年の幕開けを祝う

平和な一年への願いを込めて 立石愛隣会「初日の出を愛でる会」

立石愛隣会(山内毅会長)は1月1日、尾首地区で、「初日の出を愛でる会」を開きました。愛隣会では6年前から初日の出を見る催しを開催。今年は地元住民を中心に約40人が参加し、雲の切れ間からのぞいた初日に、新年の幕開けを祝いました。山内会長は「美しい初日の出を見ることができてうれしい。これからも訪れた人に喜んでもらえるように頑張っていきたい」と話していました。



スローガンを掲げる小田幼稚園の園児たち

110番あなたの安全守ります 内子交番「110番の日 in 小田」

大洲警察署内子交番は1月10日、文化交流センタースバルで、「110番の日 in 小田」を開きました。署員が、寸劇で、110番通報の適正な利用方法を説明。福岡見字交番所長は、「まず落ち着いて電話することが大切。また110番はあくまで緊急のもの。いたずらは絶対にやめて」と呼びかけました。県内の24年の通報件数は98,804件。そのうち約23%がいたずらや間違いとなっています。



火にあたり、焼いた餅を食べたりして無病息災を祈願

新年の健康と幸福を祈り 町内各地域で「どんど焼き」

正月飾りなどを持ち寄って焼き、新年の健康を祈る「どんど焼き」が、町内の各地域で行われました。本川地区では、若者有志がつくる恵比須愛好会(山本秀則会長)が中心となり3年前から開催。今年は1月13日に廣瀬神社で行いました。山本会長は、「このような行事をきっかけに、みんなが集まれる場をつくることで、地域を元気づけていきたい」と話しました。

初冬の山里で田舎の「食」を味わって お山の学校「ながた」で食の文化祭

長田自治会(太田利栄自治会長)は12月9日、お山の学校「ながた」で、「第7回長田・食の文化祭」を開きました。雪の降る中、町内外から約150人が来場。郷土料理の「しし鍋」の試食や、名物の釜揚げうどん、石窯ピザなどのバザーを楽しみました。

太田自治会長は、「お山の学校が7月にオープンした。文化祭をきっかけに、多くの人に学校のこともしてもらい、長田に足を運んでもらいたい」と話しました。



食べ放題の釜揚げうどんは毎年、大人気

家族の愛情を見つめ直す 劇団「オーガンス」第15回定期公演

劇団「オーガンス」(徳田幸治代表)は12月9日、内子座で、第15回定期公演『アットホーム』を上演しました。

主人公は、裕福な家で育てられた盲目の少年。小さい頃に失踪した母親を捜してたどり着いた廃駅を舞台に、元駅長や、少年をだまそうとする人々とのやりとりを通して家族愛を見つめ直す物語で、シリアスなテーマをユーモアたっぷりに演じました。力の入った本格的な劇に、観客から大きな拍手が贈られました。



廃駅を舞台に描かれた「アットホーム」

地域に伝わる伝統芸能を披露 「内子町伝統芸能まつり」

内子町は12月16日、内子座で、平成17年の合併以来初めての「内子町伝統芸能まつり」を開きました。

地域で活躍する伝統芸能継承団体が一堂に会し、互いに貴重な伝統芸能を披露することで、団体間の交流や次世代への継承を図ることがねらい。町指定無形文化財の立川神楽保存会、中川万歳保存会をはじめ、大瀬三島神社大久保獅子舞保存会、大瀬三島神社しゃぎり、廿日市三島神社獅子舞保存会、五十崎町秋祭り獅子舞保存会、村前大根一座、寺村獅子舞保存会の8団体が出演しました。

町担当の亀岡秀俊自治・学習課生涯学習係長は、「参加者から“来年度以降も継続して開催してほしい”などの声もあり、まつりをきっかけに、多くの人に伝統芸能の素晴らしさを知っていただけたのではないかと思います。今後も、地域に伝わる素晴らしい技を広め、保存・活用を図っていきたい」と話していました。



1_中川万歳保存会「松づくし」(町指定無形文化財) 2_立川神楽保存会「四天王ノ舞」(町指定無形文化財) 3_廿日市三島神社獅子舞保存会「獅子撃ち」